

土木学会デザイン賞 2020年度奨励賞 ウエスコ受賞

この度、「百間川分流部改築事業」が、「土木学会デザイン賞 2020年度奨励賞」に選定されました。

主な関係組織・関係者として(株)ウエスコ・高橋邦治が、土木学会のホームページで紹介されています。「百間川分流部改築事業」のうちウエスコは、一の荒手の亀の甲の詳細設計を実施し、以下のURLに掲載されています。

また、2021年1月23日(土)に土木学会講堂にて授賞式及び受賞作品プレゼンテーションが開催されます。

■2020年受賞作品

<http://design-prize.sakura.ne.jp/award>

「百間川分流部改築事業」: (株)ウエスコ・管理技術者: 高橋邦治

<http://design-prize.sakura.ne.jp/archives/result/1459>



選考委員の講評 :

広大かつ豊かな自然環境が拡がる分流部の風景の中で歴史的遺構である“一の荒手”を中心とした構造物をどう整備するかは“百間川分流部改築事業”の中でも特に大きな課題であったと思う。“一の荒手”的整備では、半ば土中にあった“亀の甲”を掘り起こし、個々の石材の位置を記録して解体、緩みのある箇所を修正した上で、石材の位置にもこだわって形状を復元した“亀の甲羅”的な曲線美が実に美しい。

また、新しく築造した亀の甲の土台ともなる本体工は、亀の甲と石材の色相を変えている。そのコントラストは明快であり、新旧構造物の履歴を容易に理解できる。亀の甲と本体工・階段工との接合部分も丁寧に仕上がっていて好感が持てる。

ただ、歴史的遺構の復元、自然環境の保全、水辺利用との調和という視点から二の荒手、背割堤等を含む分流部全体を評価することには戸惑いを感じた。今後の維持管理の中で達成していく大きな目標のように感じる。